

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	阿南市家庭教育支援チーム (呼称: 育みクラブ)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	那賀川社会福祉会館1F事務所
活動範囲	阿南市内全域 等
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>11</u> 人 <b>【相談員】</b> 元教員 4人, 元保育士 2人, 元養護教諭 1人 <b>【アドバイザー】</b> 臨床心理士 1人, 保健師 1人, 助産師 1人, 社会教育指導員 1人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  ・子育て・家庭教育電話相談 毎週月曜日～金曜日, 午前9時～正午, 来所相談: 随時 ・広報紙の作成・配布 活動周知用のチラシ「育みクラブ」通信、パンフレットの発行。子育てに関するアドバイスも掲載。 市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校に配布。配布時には、相談員が足を運んで、広報している。 ・家庭教育支援チーム定例会の開催 情報交換と活動協議を行うため, 毎月1回開催。 ・定例会 毎月1回、相談員、アドバイザー、事務局が集まり、情報共有やよりよい対応方針について話し合っている。

<b>活動の成果</b>	<p>相談の中には、深刻で長期に関わっているケースもある。しかし、相談者との信頼関係を築き、的確で根気強い相談員の支援により多くの場合、よりよい方向に改善されている。相談者から笑顔が見られるようになったり、将来に向けて夢が語られるようになったりすることは、相談員にとっても、嬉しい限りである。</p> <p>少子高齢化や家族形態の多様化、人間関係の希薄等が進む現代社会において、子育てを一人で抱えてしまい、不安を感じる保護者や家族は少なくない。地域住民との連携を深め、子育て支援の広がりを図る「育みクラブ」の役割を今後も果たしていきたいと思う。</p>
<b>活動において苦労した点や課題</b>	<p>電話相談・来所相談は、母親からの育児や子育てに関する相談内容に止まらず、子どもの特別支援教育や不登校等の生徒指導関係、精神疾患等に関する専門的な知識を必要とすることも増加している。内容も多岐にわたり複雑化し、相談者も祖父母や父親からの相談も増えている。必要に応じて、学校や臨床心理士、関係機関等と連携をとりながら進めている。相談員たちは、個々の相談内容の本質を正確に理解し、的確なアドバイスとなるよう、研修会に参加する等、日々研鑽を積んでいる。</p> <p>平成 22 年度に、国の事業が廃止され、ボランティア活動として、相談業務等が継続されている。熱心に取り組んでくれている相談員たちに少しでも報酬を渡したいが、財源がない。</p>
<b>今後の活動目標</b>	<p>来所相談は、相手と信頼関係を築きやすく大きな効果がある。今後は、来所相談を増やしていきたい。</p> <p>多岐にわたり複雑化している相談内容に対し、質の高いアドバイスをしていくことを目標としている。</p>
<b>問合せ先</b>	<p>(部署・氏名等)阿南市教育委員会生涯学習課  (TEL)0884-22-3391  (E-mail)<a href="mailto:kyousha@city.anan.tokushima.jp">kyousha@city.anan.tokushima.jp</a></p>